

弘前大学学報



藤崎農場から望む夕焼け

第 113 号
平成25年 8月号

学内ニュース

○”弘前ねぶたまつり”に連続50回目の出陣	-----	1
○教育に関する表彰式	-----	2
○平成25年度「科学者発見プロジェクト」テーマ賞表彰式 及び第5回共同研究体験発表会	-----	3
○人文学部2年辰巳真広さんが「MOS世界学生大会2013」 エクセル部門世界第8位入賞	-----	4
○子ども霞が関見学デー（文部科学省）に参加	-----	5
○オープンキャンパスを開催	-----	6
○理工学研究科市村雅一准教授が日本学術振興会から表彰	-----	7
○在ボストン日本国総領事館の武藤総領事が来学	-----	8
○インターンシップを実施	-----	9
○平成25年度弘前大学科研費獲得スキル向上セミナー開催	-----	10

諸会議	-----	11
（8月開催の会議なし）		

人 事

○人事異動	-----	12
-------	-------	----

主要日誌	-----	14
-------------	-------	----

学内規則	-----	15
-------------	-------	----

”弘前ねぷたまつり”に連続50回目の出陣

津軽の風物詩「弘前ねぷたまつり」が8月1日（木）から7日間行われ、本学は8月1日（木）、5日（月）、6日（火）の三夜の合同運行に出陣しました。今年は、昭和39年に初めて「弘前ねぷたまつり」に参加して以来、連続50年目の節目の出陣となりました。

運行には、佐藤学長、神田理事、江羅理事をはじめ、各理事や各部局長を先頭に教職員、学生、留学生、附属学校園の生徒、近隣町会の子供たちなど3日間で延べ約1000人が参加し、「ヤーヤドー」の掛け声も勇ましく、夕暮れから約2時間余り市内を練り歩きました。小型ねぷたや灯籠を従えた極彩色の鏡絵「水滸伝 一丈青奮戦の図」、見送り絵「一丈青」を描いた高さ約7mの勇壮なねぷたは、沿道の市民・観光客から大喝采を浴びました。

また、ねぷたまつり初日の8月1日（木）には、医学部附属病院正面駐車場内において、恒例となっている小児科入院中の子供達や保護者、医師、看護師及び事務職員等による「小型ねぷた」運行が行われ、太鼓と笛の音に合わせて、子供達は「ヤーヤドー」と元気な掛け声を響かせ、津軽の短い夏の夜のひとときを楽しみました。

さらに、岩手大学と弘前大学の国立大学間の連携、協力を強力に推進するため、平成15年から大学相互の祭（盛岡さんさ踊り、弘前ねぷたまつり）交流を行い、地域文化の相互理解を図っており、8月5日（月）は、岩手大学の小川理事らが佐藤学長とともに、弘前大学の「ねぷた」の先導を務め、大学間の連携をアピールしました。



勇壮な弘前大学ねぷた



出陣式で挨拶する佐藤学長



先導を務める佐藤学長（中央）、小川岩手大学理事・副学長（右）、馬場岩手大学理事・副学長（左）



参加した留学生たち

教育に関する表彰式

本学では、前年度において優秀な成績を修めた学生及び教育に関して優れた業績を上げた教員を対象として、8月1日（木）、事務局大会議室で表彰式を実施しました。

今回の受賞者は、各学部等から推薦された学生26名、教員7名で、表彰式には、中根理事（教育担当）及び各学部長・研究科長も出席し、佐藤学長から一人ひとりに表彰状と副賞が贈呈されました。

これを受けて、学生を代表して理工学部2年の古川千恵子さんから、教員を代表して医学研究科の黒田直人教授から謝辞が述べられ、表彰式は和やかなうちに終了しました。



佐藤学長（前列左から6人目）と表彰学生



佐藤学長（前列左から3人目）と表彰教員

平成25年度「科学者発見プロジェクト」テーマ賞表彰式 及び第5回共同研究体験発表会

8月2日（金）、弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大において、平成25年度「科学者発見プロジェクト」テーマ賞の表彰式を開催しました。本事業は、日常のささいな「疑問や興味、アイデア等」を青森県内の小・中・高の児童・生徒から広く募集し、その提案に基づいた研究テーマを本学研究者と共に体験する双方向的な試みであり、本学の地域貢献の一環として平成20年度より行っております。

発展性、意外性、独創性に優れた研究テーマとして、八戸市立松館小学校の「しあわせプロジェクト4～よつ葉ができるしくみを明らかにし、よつ葉を増やすチャレンジ～」をはじめ、9件（養護学校1件、小学校2件、中学校4件、高校2件）が「テーマ賞」に採択されました。表彰式では、佐藤学長の挨拶、加藤理事（研究担当）の講評の後、学校関係者及び保護者などが見守るなか受賞者を代表して、八戸市立松館小学校6年 松沢 紗希さんから、受賞へのお礼の言葉と今後の共同研究に対する決意の言葉がありました。

引き続き、第5回共同研究体験発表会が行われ、昨年度共同研究を実施した「豆乳から、ゆばや豆ふができるのは、なぜだろう」（弘前大学教育学部附属小学校）等5件の研究成果の発表が行われました。その充実した発表内容は未来の科学者を期待させるものであり、共同研究体験を通じて「関心を探求するプロセス」を研究者と共に体験することで、大学をより身近に感じてもらうよい機会となりました。



佐藤学長による挨拶の様子



佐藤学長から表彰を受ける高校生



受賞者による代表挨拶



共同研究体験発表をする小学生

人文学部2年辰巳真広さんが「MOS世界学生大会2013」 エクセル部門世界第8位入賞

エクセルやワード、パワーポイントのスキルNo.1を競い合う国際的なパソコンのコンテストであるMOS世界学生大会が、7月31日から8月3日までアメリカ合衆国ワシントンD. C. において行われ、エクセル2010部門日本代表で出場した人文学部2年の辰巳真広さんが、世界第8位に輝きました。おめでとうございます！

なお、9月発行予定の広報誌ひろだい21号に、辰巳真広さんの特集が掲載されますので、ご覧ください。



MOS世界大会の表彰式会場



大会終了後、清々しい表情を見せる辰巳さん

子ども霞が関見学デー（文部科学省）に参加

本学は、8月7日（水）、8日（木）、東京霞が関で行われた「子ども霞が関見学デー」に参加しました。

弘前大学ブースでは、『弘前大学と放射線について学ぼう！』をテーマに、被ばく医療総合研究所及び大学院保健学研究科の教員が、科学実験を通して子どもたちに「放射線とは何か？」を説明しました。

来場した子どもたちは、霧箱を使って自然界にある放射線を観察したり、「ベータちゃん」と呼ばれる放射線測定器を使って身のまわりの物の放射線を測定し、実際に体験しながら放射線について学んでいました。



被ばく総合医療研究所及び大学院保健学研究科の教員による説明・科学実験の様子

オープンキャンパスを開催

8月8日（木）、「弘前大学オープンキャンパス」を開催しました。県内外の高校生、保護者など、6,213名が参加しました。

各学部等では、模擬講義、実験実習体験、なんでも相談コーナー、「先輩と語ろう」コーナー等、多彩な企画を準備しており、参加者は教員や学生の話に熱心に聞き、弘前大学の雰囲気を肌で感じていました。

資料館では、オープンキャンパス特別企画として、企画展の内容を教員が説明する「企画展レクチャー」を開催しました。

また、キャンパス内の歴史的な建物や各学部を紹介するキャンパスツアーの実施、総合相談コーナーでは、高校生らの関心が高い入試情報、奨学金、学生寮、就職情報等について担当者がわかりやすく説明を行いました。



オープンキャンパス会場の様子

理工学研究科市村雅一准教授が日本学術振興会から表彰

このたび理工学研究科市村雅一准教授が、独立行政法人日本学術振興会より特別研究員書面審査において模範となる意見を付し、公平・公正な審査に大きく貢献されたとして表彰を受け、8月9日（金）、佐藤学長から表彰状と記念品が手渡されました。

日本学術振興会が昭和60年より実施している特別研究員制度は、学術研究の将来を担う若手研究者の養成を目的としており、その選考に際しては適正・公平な審査が不可欠とされています。特に第1段階の書面審査はすべての審査の基盤となる大変重要なものであり、市村准教授はこの書面審査において、1,300名の専門委員のうち、表彰対象となる2年目にあたる約600名の中の46名に選ばれました。

佐藤学長より表彰状と記念品を受け取った市村准教授は、「審査にあたっては、若手研究者の研究に対する熱心な姿勢を後押しするつもりで、こつこつと取り組んだ。日本の研究者養成に貢献でき、今回このような表彰をいただいたのは大変光栄です」と謝辞を述べ、これからも研究者として一層励んでいきたいと気持ちを新たにしていました。表彰式には加藤理事（研究担当）ならびに吉澤理工学研究科長も列席し、市村准教授の功績を讃えました。



左から、加藤理事、佐藤学長、表彰された市村准教授、吉澤理工学研究科長

在ボストン日本国総領事館の武藤総領事が来学

8月20日（火）、在ボストン日本国総領事館の武藤頭総領事が来学し、佐藤学長を表敬訪問されました。

武藤総領事からは、アメリカでの日本人学生の留学状況等の説明があったほか、本学とメイン州立大学との繋がりを非常に評価していただきました。そして、本学の国際化や学術的な国際交流の取組などについて意見交換が行われ、本学の国際化推進に非常に有意義なものとなりました。



佐藤学長（左）と懇談する武藤総領事（右）

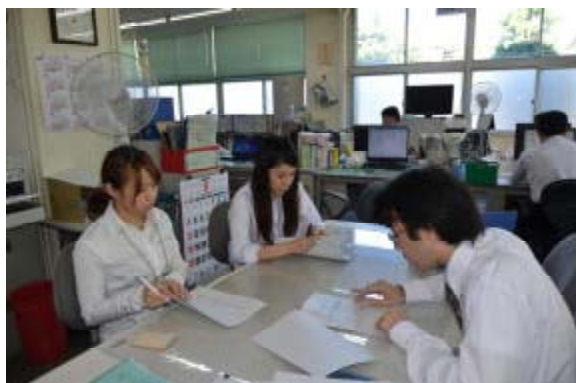


学長表敬時の様子

インターンシップを実施

8月26日（月）～30日（金）まで、本学でインターンシップを実施しました。

このインターンシップは、本学での実務を体験させることで、自主的な職業選択能力や高い職業意識の育成に寄与することを目的としており、平成18年度からインターンシップの学生を受け入れています。今年度は6名の学生が参加し、学生は総務部、財務部、学務部にそれぞれ配属され、それぞれデータの整理および入力、広報誌作成業務、学生就職支援センターや学寮の事務補助等を行いました。皆緊張した面持ちながらも真剣に業務に取り組み、時には職員の方々と談笑する姿も見られ、和やかな空気の中実務体験を行っていました。参加した学生にとって、職業意識を向上させ、学生自身の将来像を明確なものとする、実り多い実習となりました。



各部署で就業体験をする参加者たち

平成25年度弘前大学科研費獲得スキル向上セミナー開催

平成26年度科研費公募に先立ち、科研費採択率向上を目的とした科研費獲得スキル向上セミナーが8月28日（水）、弘前大学コラボ弘大「八甲田ホール」で行われました。

本セミナーでは、「研究計画書の点検と進化の実際」（高等教育情報センター）の著者でもあり、科研費獲得スキル向上のための講師を数多く務めておられる、明治大学研究推進部生田研究知財事務室事務長 小澤 芳明 氏をお招きし、「科研費研究計画調書の書き方と獲得戦術について」と題して、研究計画調書作成のための基本事項や審査員へのアピールポイント、点検・改善方策について講演が行われました。

研究計画調書の具体的な書き方・ポイントに絞ったセミナーを初めて開催したということもあり、当日は弘前大学教職員併せて120名の参加がありました。また、講演後の質疑応答では、具体事例を挙げての活発な質問が出され、それについて講師からアドバイスをいただくなど、科研費採択率向上を図る上で大変有意義なセミナーとなりました。



小澤 芳明 氏による講演の様子



会場の様子

■ 諸 会 議

8 月中に開催された諸会議はありませんでした。

新任教授紹介

【平成25年8月1日発令】



理工学研究科
フジワラマシヒト
藤川安仁
採用
前職: 東北大学金属材料研究所
准教授



理工学研究科
アベトシユキ
阿部敏之
昇任
前職: 理工学部准教授

新任部課長等紹介

【平成25年8月1日発令】



研究推進部研究推進課長
オサダカツキ
大塚克威
採用
前職: 文部科学省大臣官房人事課
総務班人事情報係 係長

人事異動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年8月1日		大塚 克威	課長(研推・研推)
平成25年8月1日		藤川 安仁	教授(理工)
平成25年8月1日		藤田 雄	助教(医)
平成25年8月1日		山寄 博未	助教(医)
平成25年8月1日		田中 諭	助手(病院)
平成25年8月1日		澤田 匡宏	助手(病院)
平成25年8月1日		豊沢 華子	看護師(病院)
平成25年8月1日		對馬 真琴	看護師(病院)
平成25年8月14日		尾崎 拓	助教(医)

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年8月1日	准教授(理工)	阿部 敏之	教授(理工)

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年8月1日	助教(医)	木村正臣	講師(医)

[配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年8月1日	助教(医)	工藤孝志	助教(医)

[命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年8月1日	教授(医)	福田眞作	光学医療診療部長 [H28.7.31]

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年8月1日	係長(病院・総務)	酒井篤史	職務復帰
平成25年8月1日	一般職員(財務・財企)	島田裕介	休職延長 [H25.9.30まで]
平成25年8月1日	教諭(特支)	宮本美穂	職務復帰
平成25年8月14日	助教(医)	竹内侯雄	職務復帰
平成25年8月25日	一般職員(教育)	庄司晋矢	休職 [H25.9.30まで]

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年8月1日	一般職員(人文)	葛西裕美	職務復帰
平成25年8月1日	看護師(病院)	村山麻由香	職務復帰

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年8月11日	係長(教育・附小)	會津祐子	辞職
平成25年8月18日	課長補佐(施設)	村上育洋	辞職
平成25年8月31日	准教授(理工)	小林眞平	辞職
平成25年8月31日	助手(病院)	盛泰子	辞職
平成25年8月31日	看護師(病院)	小林加奈子	辞職
平成25年8月31日	助産師(病院)	奈良麻希	辞職

■ 主要日誌

- 8月1日 ねぶた出陣式
ねぶた参加日
成績優秀学生の表彰式
教育に関して優れた業績を上げた教員表彰式
- 2日 平成25年度科学者発見プロジェクトテーマ賞表彰式及び共同研究体験発表会
- 5日 ねぶた参加日
- 6日 ねぶた参加日
- 7日 子ども霞が関見学デー（文部科学省）参加（～8日）
- 8日 オープンキャンパス
- 13日 夏季一斉休業（～15日）
- 20日 在ボストン日本国総領事館の武藤総領事来学
- 26日 インターンシップ受入（～30日）
- 28日 平成25年度科研費獲得スキル向上セミナー

■ 学内規則

(平成25年8月2日改正)

○弘前大学学位規則

学位規則の一部を改正する省令（平成25年文部科学省令第5号）が平成25年4月1日から施行し、以下のように改正されたことに伴い、上記の規則の一部を改正した。

- ①博士の学位を授与された者は、当該博士の学位の授与に係る論文をインターネットの利用により公表するものとする。
- ②博士の学位を授与した大学等は、当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査の結果をインターネットの利用により公表するものとする。

弘前大学学報第113号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111